



令和 6 年 11 月 27 日

岡山大学病院のロボット手術件数内訳で泌尿器科が最多の症例数 年間手術件数は国立大学病院ランキングで 1 位

◆発表のポイント

- ・岡山大学病院は 2023 年国立大学病院でのロボット手術件数全国 1 位となり（587 件）、泌尿器科領域の件数が最多でした（184 件）。
- ・岡山大学病院で 2010 年に国立大学病院で初めてロボット手術を導入し、泌尿器科で前立腺がんの手術を行いました。
- ・現在泌尿器科領域では 8 種類の術式でロボット手術が保険適用となり、新規手術を次々導入し、手術件数も増加しています。

岡山大学病院は 2010 年、国立大学病院として初めてロボット手術を導入し、泌尿器科で前立腺がんの手術を開始しました。その後も新しい技術を積極的に取り入れ、アジア・ヨーロッパ初のロボット自家腎移植、日本初のロボット腎盂形成術を行うなど日本におけるロボット手術の発展をリードしてきました。

2023 年、岡山大学病院は国立大学病院の中で年間のロボット手術件数が全国 1 位（587 件）となり、その内訳で泌尿器科（荒木元朗教授）の手術件数が 184 件と最多でした。現在、泌尿器科では前立腺がん以外にも、腎がん、膀胱がんなどの病気に対して 8 種類のロボット手術を行っていますが、腎がんと膀胱がんは全国トップクラスの症例数を誇っています。

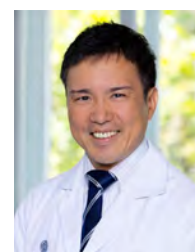
◆発表者からのひとこと

岡山大学病院には全国有数の低侵襲治療センターがあり、岡山県内・県外から多くの患者がロボット手術目的で来院されて手術を受けています。

今回、ロボット手術件数国立大学病院第一位を獲得したことを励みに、他科と協力してこれからも安全で体に優しい手術を心掛け、皆さまのニーズに応えていきたいと思っております。



荒木 教授



別宮 助教



PRESS RELEASE

■発表内容

<背景>

岡山大学病院は 2010 年に国立大学病院で初めてロボット手術（ダビンチ）を導入し、最初に泌尿器科で前立腺がんの手術を行いました。また、新しい手術も積極的に導入しており、アジア・ヨーロッパ初のロボット自家腎移植、日本初のロボット腎盂形成術を行い日本のロボット手術を牽引してきました。

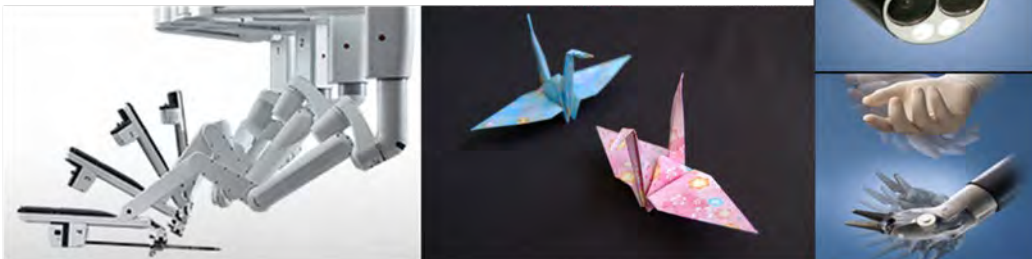
<現状>

岡山大学病院は 2023 年、国立大学病院でのロボット手術件数が全国 1 位となり（587 例）、その中で泌尿器科領域の件数が最多でした（184 例）。現在泌尿器科では、前立腺がん、腎がん、膀胱がん、腎盂尿管がん、副腎腫瘍、骨盤性器脱、腎盂尿管移行部狭窄症などに対し 8 種類のロボット手術が保険適用となっています。

2023 年の膀胱がんに対する膀胱全摘除術件数は国立大学病院の中で第 2 位、腎がんに対する腎部分切除術件数は第 3 位でした。

ダビンチサージカルシステムXi

- ・高性能3次元画像、拡大視野
- ・人の手の関節可動域を凌駕した関節を有する鉗子



国立大学病院 ロボット手術件数 (2023年)

病院	手術件数
岡山大学	587
2.大阪大学	558
3.東京医科歯科大学	551

(国立大学のみ、インテュイティブ社)

岡山大学病院 内訳

1.泌尿器	184例
2.呼吸器	135例
3.肝胆膵	90例
4.食道	60例
5.大腸	59例



PRESS RELEASE

<今後の展望>

手術支援ロボットの普及は急速に進んでおり、新規ロボットも登場するなど今後ますますの発展が期待されます。多くのロボット手術が保険適用になり、ますます症例数の増加が見込まれます。岡山大学病院は、引き続き日本のロボット手術を牽引していきたいと考えています。

■補足・用語説明

岡山大学病院では現在、ダビンチ Xi サージカルシステム 2 台、ダビンチ Si サージカルシステム 1 台の計 3 台のダビンチを保有しています。

「ダビンチサージカルシステム」: インテュイティブ社 (アメリカ) 製で、日本だけでなく世界中でもっとも使用されている手術支援ロボットです。手術をする医師は操縦席 (コクピット) に入り、ロボットのカメラとアームを操作し手術を進めていきます。

<お問い合わせ>

岡山大学病院 泌尿器科

助教 別宮 謙介

(電話番号) 086-235-7287

(FAX) 086-231-3986



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

